

子ども虐待防止

オレンジリボンたすきリレー

in みやざき

～全ての子どもに明るい未来を～



www.orangeribbon.jp

子ども虐待防止
オレンジリボン
運動

子ども虐待とは

子ども虐待とは、**身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、ネグレクト**の4種類に分類されています。

身体的虐待

殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束する など

性的虐待

子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触る又は触らせる、ポルノグラフィの被写体にする など

心理的虐待

言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的取扱い、子の目前で家族に対して暴力をふるう（ドメスティック・バイオレンス：DV）など

ネグレクト

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など

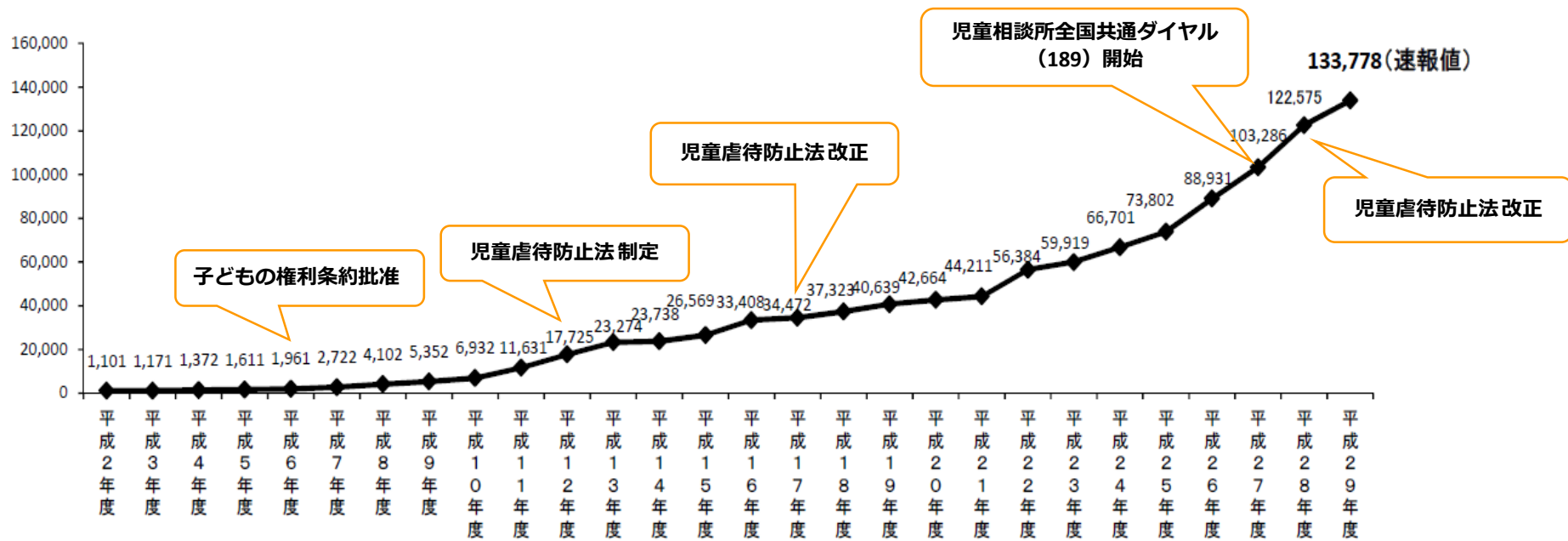
児童相談所の子ども虐待対応件数と推移（全国）

1 全国の児童相談所での児童虐待相談対応件数（平成29年度）

133,778 件（速報値）で、**過去最多**

約4分に1人の子どもが虐待を受けています

2 全国の子ども虐待相談対応件数の推移



年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 （速報値）
件数	42,664	44,211	注 56,384	59,919	66,701	73,802	88,931	103,286	122,575	133,778
対前年度比	105.0%	103.6%	-	-	111.3%	110.6%	120.5%	116.1%	118.7%	109.1%

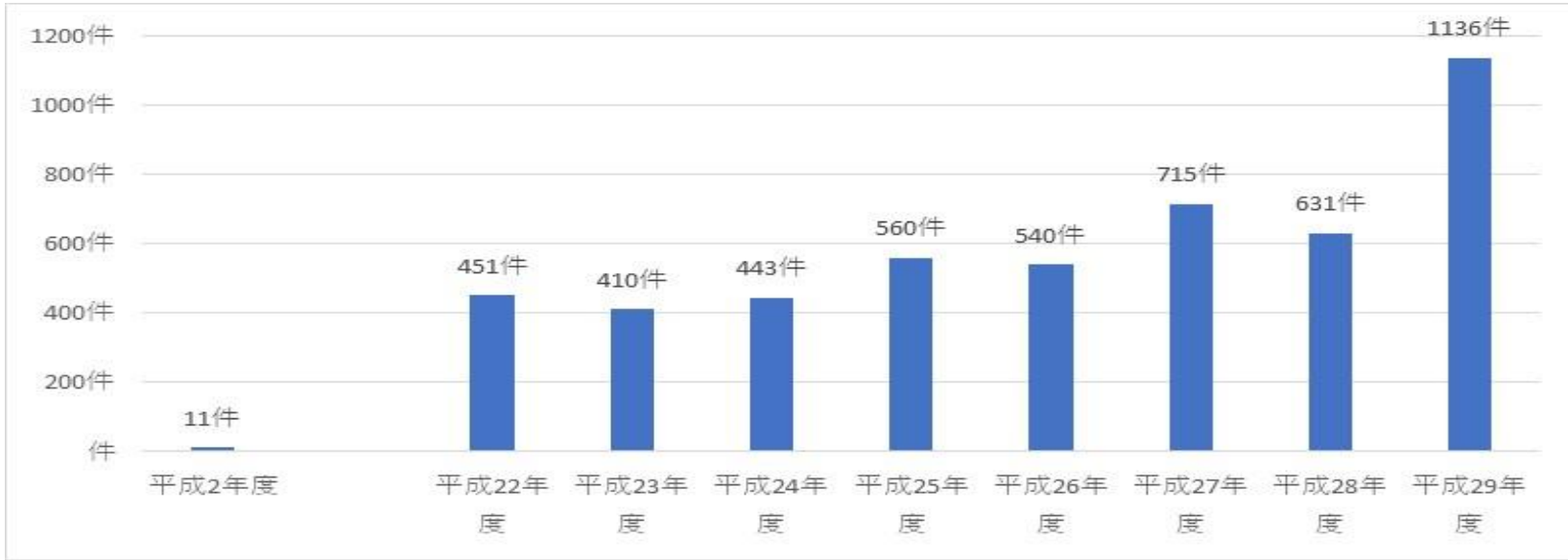
注）平成22年度の件数は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値。

児童相談所の子ども虐待対応件数と推移（宮崎）

1 宮崎県内の児童相談所での児童虐待相談対応件数（平成29年度）

1,136 件で、平成2年度の統計開始以来 **過去最多**。 ※平成28年度（631件）に比べて**505**件増加。

2 県内の子ども虐待相談対応件数の推移



平成2年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
11件	451件	410件	443件	560件	540件	715件	631件	1136件
-	123.60%	90.9%	108.0%	126.4%	96.4%	132.4%	88.3%	180.0%

上段は相談対応件数、下段は対前年比

子ども虐待による死亡事例など

全国の死亡事例 (平成28年4月1日～平成29年3月31日までの間)

子ども虐待による死亡事例 **77** 人 (平成27年度 84人)

- **死亡した子どもの年齢**は、**0歳**が**32人** (65.3%) と最も多い。
- **虐待の種類**は、**身体的虐待**が**27人** (55.1%) が最も多い。

子ども虐待を防ぐために必要なこと

子ども虐待防止の啓発活動

親になるための教育や体験

子どもと家族をサポートする
社会づくり

社会全体で
児童虐待を
防止する
取組が必要

全国に広がるオレンジリボン運動

オレンジリボン運動とは

平成16（2004）年、栃木県小山市で3歳と4歳になる二人の兄弟が父親の友人から再三にわたって暴行を受け、息も絶え絶えの状態で、橋の上から川に投げ込まれて幼い命を奪われるという痛ましい事件をきっかけに、「子ども虐待のない社会の実現」を目指すオレンジリボン運動が全国各地で始まりました。

オレンジカラーの由来は

オレンジの色は里親家庭（※）で育った子どもたちが「子どもたちの明るい未来を示す色」として選んだと言われています。その胸の中に、太陽のような明るさと暖かさを感じたいという思いがあったのかもしれない。

※里親家庭とは、虐待等さまざまな事情によって家庭で暮らせなくなった子ども達を、自分の家庭に迎え入れて養育する方々のことです。

オレンジリボンたすきリレーinみやざき

毎年**11月**は、**児童虐待防止推進月間**です。

私達の啓発活動は、**オレンジリボンたすきリレー**です。



オレンジリボンたすきリレーinみやざき

オレンジリボンたすきリレーinみやざきとは

1 概要

子ども虐待を防止解決するためには、県民の方々の理解や多くの機関・分野の方々との協働による取り組みが必要不可欠です。

このため、平成25年に、子ども虐待に関わる職員等による有志の実行委員会を立ち上げ、子ども虐待防止のシンボルであるオレンジリボンをたすきに仕立て、リレーにより県民への虐待防止の関心を高める活動を、毎年11月（児童虐待防止推進月間）頃に行っています。

【主催】 みやざきオレンジリボンたすきリレー実行委員会（※）

※子ども虐待の関係機関の職員や有志等で構成

【共催】 宮崎県児童福祉施設協議会

オレンジリボンが、多くの方々の心に届きますよう、
オレンジリボンが子どもたち、
そして子育て中の親子の心を包み込みますよう、
一生懸命たすきをつないで走ります。

オレンジリボンたすきリレーinみやざき

2 これまでの取組

(1) 参加者数

平成25年度：47名、平成26年度：119名、平成27年度：116名

平成28年度：139名、平成29年度：140名



オレンジリボンたすきリレーinみやざき

2 これまでの取組

(2) 実施プログラム

① たすきリレー

石井十次の墓（西都市） → 友愛園（木城町） → 金鈴学園（川南町）
→ 鐘ヶ浜学園（日向市） → 日向市役所（日向市）
→ 門川町役場（門川町） → みどり学園（延岡市）
→ 北部福祉こどもセンター（延岡市）

約73 km



オレンジリボンたすきリレーinみやざき

2 これまでの取組

② 防止キャンペーン

- ▶子ども虐待防止の啓発チラシなどを大型スーパーなどで配布
- ▶みやざき犬などの「ゆるキャラ」も一緒に啓発活動に参加（※）

※平成30年度は実施しない方向



私達の願い。

全ての子ども達の笑顔、そして明るい未来



私たちと一緒に。

